



一般財団法人 南西地域産業活性化センター

2025（令和7）年 11月26日

“南西地域のシンクタンク”

NANSEI SHOTO INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

〒900-0015 那覇市久茂地3-15-9（アルテビル那覇2F） 電話（098）861-2180

各 位

景気ウォッチャー10月調査

沖縄地域の結果

弊財団は、内閣府が主管する景気ウォッチャー調査を取りまとめている三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より再委託を受けて沖縄地域の調査を行っております。

この度、10月調査の結果をまとめました。調査の概要は以下の通りです。

1. 県内需要は足踏みをみせているが、観光需要が引き続き好調で、インバウンドも多くみられていることから現状判断DI値は「54.4」と好況。
2. 多くの業種で年末に向けた需要増加などへの期待感から、2~3か月先の先行き判断DI値は「60.5」と好況の見通し。

詳しい報告につきましては別紙「景気ウォッチャー調査(沖縄地域)2025年10月調査」をご覧ください。

※お気づきの点、不明な点などございましたら、下記までご連絡ください。

・担当：島袋

問い合わせ先：電話 098-861-2180 (ファクシミリ 098-869-0661)

E-mail shimabukuro-y@niac.or.jp

報道各社

内閣府において、公表された 2025（令和7）年 10 月「景気ウォッチャー調査」の調査結果をもとに、弊財団にて、沖縄地域の結果の概要を取りまとめましたので、皆様に報告いたします。

一般財団法人南西地域産業活性化センター

会長 本永 浩之

景気ウォッチャー10月調査（季節調整値） 沖縄地域の結果

●沖縄地域の10月調査結果 概要

10月調査の結果によると、沖縄地域の現状判断DI値は前月から1.1ポイント減少の54.4となりましたが、7カ月連続で景気判断基準値の50.0を上回っており、好況が続いております。

現状判断DI値が減少した要因として、衣料品専門店や通信会社、観光名所などで県内需要が低下しています。

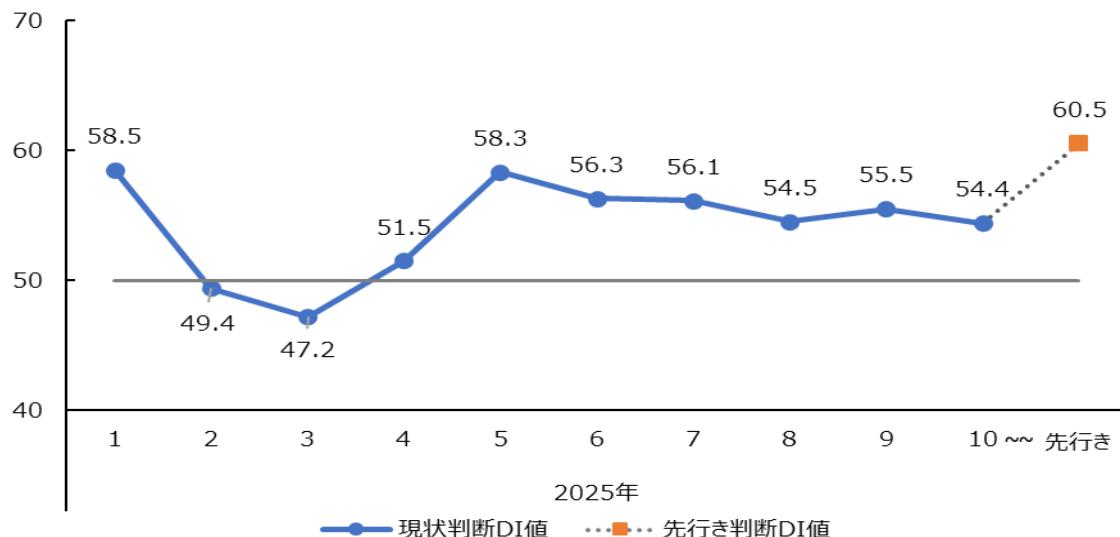
一方、観光需要が引き続き好調であり、特に10月は国慶節（中国の建国記念日で、大型連休となる）により、アジア圏の観光客が増加したことから、県内の景気をけん引したと考えられます。

先行き判断DI値は前月より0.6ポイント増加の60.5となり、2～3か月先も好況とみられています。

電気・ガス料金支援の終了や食料品の値上げが続き、家計の負担が増加することによる消費の抑制が懸念されていますが、多くの業種で年末に向けて、需要増加が期待されます。

例年、年末年始に向けて県内需要が増加することに加え、12月は最低賃金が引上げられることで更なる消費の増加も想定されることから、県内需要が回復することを期待しています。

図 沖縄地域の現状判断DI値の推移と先行き判断DI値（季節調整値）



出典：内閣府「景気ウォッチャー調査」より NIAC 作成

※「先行き」は、今後2～3か月先の景気の見通し。